

パブリックコメント・ワークショップの手引き



パブリックコメントとは？

- 行政が法令や計画等を制定するに当たって、事前に案を示し、その案について広く市民から意見や情報を募集するものです。
- 市民が政策に関わる機会を担保している、重要な制度です。

1



ワークショップの考え方

- 自分一人で対象書類の内容を読み解き、意見を整理し、提案することはとても難しいことです。
- そこでこのワークショップでは、関心を持つ市民が集まり、紙面への書き込みや対話を通じて、内容を読み解き、自分の意見を整理し、一人ひとりが政策に提案できるようになることを目指します。
- 全体で意見を統一、提案するものではありません。他の人の意見に耳を傾けて、あなたの意見を整理したり、深めるための参考にしてください。

2



ワークショップの進め方

紙面への書き込みや対話を通じて、参加者同士でコミュニケーションをとりながら進めていきます。

※以下は基本的な時間配分。4・5の詳細は次スライド参照

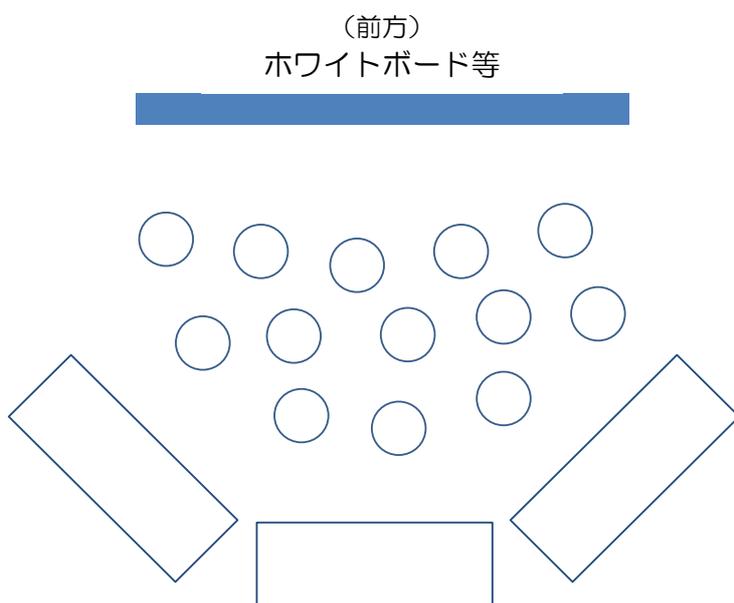
- | | |
|--------------------|-----------|
| (1) 主催者による趣旨説明 | (5分) |
| (2) 参加者による自己紹介 | (30秒×人数) |
| (3) パブリックコメント対象の確認 | (20分) |
| (4) ギャラリーセッション | (3~5分×頁数) |
| (5) 全体での共有・ふりかえり | (30分) |

※近日中にWSで述べられた意見をウェブ上に共有

3



会場の配置



① 準備・開始時

ホワイトボード等の前に椅子を用意。会場後方に立ち回れるスペースを設け、机を配置。机の上にA3判に拡大印刷した書類を貼付する。



② ギャラリーセッション

ワークショップの進め方を共有した後、席を移動し、一人で考えたり参加者と対話したりしながら、書類に意見や疑問を書き込んでいく。特に注目した箇所に印をつける。



③ 全体での共有・ふりかえり

特に印をつけた箇所については、各参加者から説明を行う。

4